

◎国際医療派遣に資機材支援＝徳島県

徳島県は8日、海外で発生した大規模災害や紛争時に医療チームを派遣している国際医療ボランティア組織「AMDA(アムダ)」(岡山市)の活動に対して、医療資機材の提供を行う協定の締結式を行った。アムダと都道府県がこうした内容で協定を結ぶのは初めて。

医療政策課によると、県はアムダの支援要請に応じて100万円を目安に医療資機材を購入。アムダを通じて被災地に送る。5月のネパール地震では緊急的に聴診器や血圧計などを約50万円分の資機材を送った。今回、同様のケースが起きた時に、より迅速に対応するため協定を締結することにした。

飯泉嘉門知事は締結式で、「世界各地で大規模災害が起きている。支援を行うことは、県内の大規模災害の医療活動につながる」とあいさつした。医療政策課は「義援金とは異なり支援方法が具体的に分かる。アムダは初動対応が早いので迅速な支援ができる」としている。(了)

写真:協定を結んだ飯泉知事(右)とアムダグループの菅波茂代表＝8日、徳島県庁(山本拓也撮影)

